令和　4　年度

# 第5次総合振興計画事務事業評価シート（様式1）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 提出日 | R4.6.24 | | |
| 担当 | 課名 | 建設課 | |
| | グループ名 | 土木グループ | |
| | 記入者名 | | |

## 1　事業概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| (1)事業名 | 道路維持事業費 | (2)事業種別（新規・継続） | 継続 |
| | | (3)事業性格（政策・一般） | 一般事業 |
| (4)第5次総振での位置づけ | | (5)予算・財源等の別 | |
| ①基本目標 | 安全で住みよいまち〈都市基盤の充実〉 | ①会計区分 | 一般会計 |
| ②大項目 | 道路・交通 | ②財源区分 | 町単独 |
| ③中項目 | 道路の整備 | ③予算科目 | 款 8　項 1　目 2 |
| ④施策 | 生活道路の整備 | ④予算事業名 | 道路維持事業費 |
| ⑤施策コード | 3・5・1・2　掲載ページ 57 ページ | | |
| (6)実施根拠 | | (7)総合戦略 | |
| ①事務分類（自治・受託） | 自治事務 | ①総合戦略（該当事業名） | 無 |
| ②根拠法令 | 道路法 | | |
| ③事業期間 | 開始　不明　年　月から | 終了 | 未定　年　月まで |

## 2　事業の目的・対象及び内容

| (1)目的（何のために行うか） | (3)手段（内容・どのような取り組みか） |
|---|---|
| 道路施設の適正な維持管理を行い、交通の安全を図る。 | 道路の通行に危険な箇所や地域の要望箇所等について調査を行い、改修や復旧方法等を検討し修繕を行う。 |
| **(2)対象（誰に対して、何に対して行うか）** | **(4)成果イメージ（どのような状態になることを目指すか）** |
| 道路を利用する人たちすべて。 | すべての道路利用者が、安全かつ快適に通行できる道路環境が整備される。 |
| 対象数：町道の総延長　単位：m | |

**(5)事業を取り巻く環境（社会環境、町民ニーズ等）、団体、議会等からの要望など**

道路施設等の老朽化が進行しており、維持管理に伴う修繕費の増大がよりいっそう見込まれる状況となっている。それに伴い、各地区や地域住民からの修繕要望等も多く寄せられている状況である。

**(6)SDGsへの貢献**

## 3　事業のコスト（実績・予算・決算）　（単位：千円）

| 項目名 ＼ (1)事業(内容) | 道路維持事業費 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 決算・予算年度 | H30年度決算 | R元年度決算 | R2年度決算 | R3年度決算 | R4年度予算 |
| (2)事業費内訳 需用費 | 17,291 | 17,104 | 14,897 | 16,723 | 16,667 |
| 委託料 | 9,680 | 12,281 | 8,571 | 8,426 | 8,729 |
| 使用料及び賃借料 | 927 | 921 | 816 | 869 | 940 |
| 工事請負費 | 41,841 | 27,373 | 77,404 | 77,774 | 71,203 |
| 原材料費 | 4,575 | 4,586 | 4,553 | 4,597 | 4,913 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,599 |
| 直接事業費合計 | 74,314 | 62,265 | 106,241 | 108,389 | 105,051 |
| (3)財源内訳 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地方債 | 0 | 0 | 35,900 | 34,900 | 34,400 |
| その他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 74,314 | 62,265 | 70,341 | 73,489 | 70,651 |
| 合計 | 74,314 | 62,265 | 106,241 | 108,389 | 105,051 |
| (4)補助金名 | | | | | |
| (5)人件費 | | | | | |
| 投入職員数 | 2.50 | 2.50 | 2.50 | 2.50 | 2.50 |
| 年間人件費 | 19,915 | 19,290 | 19,098 | 19,070 | 19,513 |
| (6)総事業費 | 94,229 | 81,555 | 125,339 | 127,459 | 124,564 |
| サービス量（ー） | ー | ー | ー | ー | ー |
| サービス単価 | － | － | － | － | － |
| （単位） | － | | | | |

| 4　指標の検証（活動指標・成果指標） | | | 道路維持事業費 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標名 | | | 単位 | R2年度決算 | R3年度決算 | R4年度予算積算 |
| （1）活動指標（実施した事業の量：回数、延長、面積等） | | | | | | |
| 指標名 | | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | | | | |
| | | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | | | | |
| （2）成果指標（実施した結果として得られた成果の量と達成度：人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等） | | | | | | |
| 指標名 | | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | | | | |
| | | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | | | | |

（3）その他指標に現れない成果

道路施設における危険個所や要望個所の補修等を行うことにより、事故等を未然防止して道路の安全性を確保することができ、町民生活における安全で快適な道路環境を提供することができる。

## 5　事業評価

（1）項目別評価

| 評価項目 | | 評価 | | 評価理由 | 評価した理由を選択してください。 |
|---|---|---|---|---|---|
| 必要性 | 事業の必要性 | 1 | 1　必要性は高い<br>2　どちらともいえない<br>3　必要性が低い | 1 | 1　事業の実施が関係法令等で定められている<br>2　住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である<br>3　その他（　　） |
| 妥当性 | 実施主体の妥当性 | 1 | 1　妥当である<br>2　どちらともいえない<br>3　妥当性が低い | 2 | 1　事業の主体が関係法令等で定められている<br>2　民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である<br>3　その他（　　） |
| | 手段の妥当性 | 1 | 1　妥当である<br>2　どちらともいえない<br>3　妥当性が低い | 3 | 1　事業を行うのに民間活力（企業、NPO、ボランティアなど）を活用している<br>2　他に有効な代替手段が見当たらない<br>3　その他（現場に応じた対策や工法検討が必要であるため、現在の手段が妥当である） |
| 効率性 | コスト効率性<br>人員の効率性 | 1 | 1　効率的である<br>2　どちらともいえない<br>3　効率性が低い | 3 | 1　サービス単価は減少している<br>2　サービス単価を維持している<br>3　その他（安全性を図りつつ費用対効果や経済性を考慮し対策を講じている） |
| 公平性 | 受益者の偏り | 1 | 1　偏りはない<br>2　どちらともいえない<br>3　偏りがある | 1 | 1　公平に分配されている<br>2　おおむね公平に分配されている<br>3　その他（　　） |
| 有効性 | 成果の向上 | 1 | 1　成果が上がっている<br>2　どちらともいえない<br>3　成果が下がっている | 3 | 1　成果指標は、目標値より実績値が上回っている<br>2　成果指標は、前年度より向上している<br>3　その他（予防保全も含め迅速な対策を講じることにより道路の安全性を確保している） |
| 進捗度 | 事業の進捗 | 2 | 1　順調に進んでいる<br>2　概ね順調である<br>3　あまり順調に進んでいない | 3 | 1　年度内に予定した事業は完了した<br>2　年度内に予定した事業の8割以上は完了した<br>3　その他（緊急性や危険性等を考慮して優先度を検討し順次対策を講じている） |

（2）総合評価（上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。）

町が管理すべき道路施設については老朽化が進行しており、住民からの修繕要望等も年々増加している。老朽化した道路構造物等においては第三者被害を及ぼす可能性もあるため、緊急性・危険性の高いものから優先度を検討し、効率的かつ効果的に修繕を進め、安心安全な道路環境を維持していく必要がある。

## 6　事業の方向性の判断

1　拡充　2　現状維持　3　縮小・統廃合

| 評価主体 | （1）一次評価<br>（担当課長） | （2）二次評価<br>（政策推進課長） | （3）最終評価<br>（町長） |
|---|---|---|---|
| 評価 | 1 | | |
| 説明 | 道路施設は常に良好な状態を維持しなければならない。昨今、高度成長期に建設された道路施設が老朽化してきており、より適切な維持管理が求められている。 | | |